

能のお稽古体験講座 能—BOX 第6回 2018.7.1 本屋禎子

金春流 コンパルリゅう

もとやよしこ

第5回 まとめ 謡と仕舞 「草紙洗小町」和吟 と 「八島」強吟
「そうしあらいこまち」 「やしま」

「離見の見」世阿弥用語

二グループに分けて、仕舞を舞うことと地謡をする側の両方の動画を見て、

- ・ 自分の姿を自分で見ると想像していたよりも出来ていない点や逆に出来ている点に分かり振り返りやすいと感じました。という感想があった。

第6回のねらい 講座のまとめ と 感想を述べる会

私たちは何のために能を学ぶのか。

学ぶとは知識を増やし積み重ねることではない。

学ぶとは私たち自身が生きるなかで、生活の質を上げるために自分のつまずきを知り、その克服の方向を考えることである。

能—舞囃子—仕舞 の順で抽象化がすすむ。

(仕舞が一番抽象的で省略されている)

能は西洋音楽・オペラなどと根本的に違う。

日本文化について学び、その特徴を見てみよう。

謡 「草紙洗小町」和吟と「八島」強吟 を謡う。

仕舞 「草紙洗小町」と「八島」の型付けを見て同じ型を見つける。

型の連続、次に何が来るかで準備が異なる。

能 「草紙洗小町」と「八島」で作者が何を訴えているかを考える。

第4回のレジメに謡・仕舞会の予定を示した。時間を作って観に来て下さい。

そして会に参加しませんか？

次回のこの能のお稽古体験講座の受講をお勧めします。

謡と仕舞 「櫻川 網の段」和吟 と 「生田キリ」強吟 を扱います。